

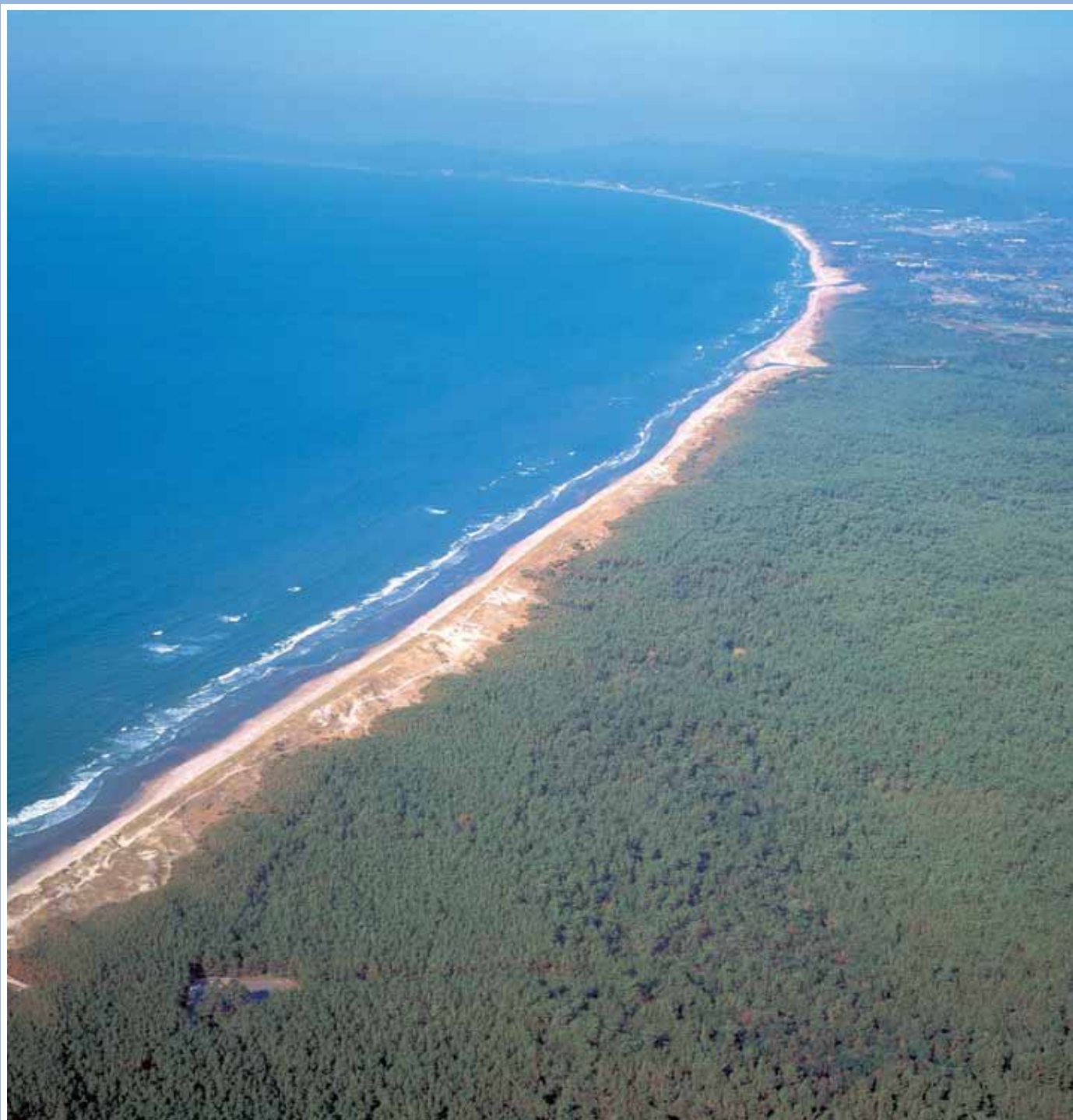


平成17年  
9月  
創刊号

# ひおき 市議会だより

発行/日置市議会  
編集/議会広報編集委員会

〒899-2592 鹿児島県日置市伊集院町郡一丁目100番地  
TEL(099)273-2111 FAX(099)273-3063  
<http://www.city.hioki.kagoshima.jp>



日本三大砂丘(吹上浜)

## 6月定例会 主な内容

- ・新生市議会スタート-----P 2
- ・市長施政方針 上程議案 P 4
- ・平成17年度 日置市予算 P 6
- ・一般質問-----P 8
- ・常任委員会報告 P16
- ・傍聴席から----P20

# 新生市議会

## スタート!

### 新しい議会構成決まる



議長 栄 宇田



副議長 貞視 地頭所

## 議長就任あいさつ

市民の皆様のご理解・ご支援、また議員の皆様のご推挙によりまして、日置市初代の議長にご選任をいただきました。身に余る光栄であり、その責任の大きさを痛感しております。新生日置市の発展、また市民の皆様のご期待に応えられるよう全力で務めてまいりますので、どうかよろしくお願ひ申し上げます。

さて、早いもので日置市が誕生してから4カ月が経過しました。市民の皆様には、それぞれの立場におきまして、市政に対する様々

なご感想をお持ちのことと存じますが、日置市議会も市民の付託に応えられるよう、また議会としての役割をはたすため、30人の議員が一丸となって議論を重ねてまいります。

今、地方は自立に向け三位一体改革などが進められ厳しい局面にあります。市民の皆様が安心して暮らせる日置市のために、さらに研鑽を積み、意思決定機関としての機能を高めてまいりますので、市民の皆様のご理解と率直なご意見をお聞かせくださることをお願ひ申し上げます。

## 議会運営委員会

議会運営にかかわることから調査し又、議案陳情等を審査するため、条例によって設置されます。

- 地頭所貞視
- 松尾 公裕
- 長野瑳や子
- 重水 富夫
- 畠中 實弘
- 田畑 純二
- 坂口ルリ子
- 委員長
- 花木 千鶴
- 副委員長
- 谷口 正行



### 日置地区消防組合議会議員

- ・宇田 栄
- ・畠中 實弘
- ・鳩野 哲盛
- ・成田 浩
- ・西峯 尚平
- ・東 孝志
- ・漆島 政人
- ・大園 貴文

### 日置広域連合議会議員

- ・宇田 栄
- ・長野瑳や子
- ・鳩野 哲盛
- ・西園 典子
- ・田畑 純二
- ・門松 慶一
- ・下御領昭博
- ・上園 哲生

### 薩南火葬場組合議会議員

- ・地頭所貞視

### 薩南衛生処理組合議会議員

- ・宇田 栄

### 西薩火葬場組合議会議員

- ・宇田 栄
- ・田丸 武人
- ・田畑 純二
- ・並松 安文

### 串木野市・市来町・日置市衛生処理組合議会議員

- ・宇田 栄
- ・長野瑳や子
- ・重水 富夫
- ・田丸 武人

### 日置市選挙管理委員会委員

- ・丸山 一夫
- ・東 國廣
- ・坂上 淳一
- ・川路 順子

### 日置市農業委員会委員

- ・重水 富夫
- ・楯 康博
- ・上田平美智子
- ・大園 貴文

## 総務企画 常任委員会

### 所管事項

財政・市税・企画・商工観光・  
監査・選挙等に関する事



鳩野 哲盛 副委員長  
上園 哲生 田丸 武人  
池満 渉 委員長  
漆島 政人 中 實弘  
東 孝志  
花木 千鶴

## 環境福祉 常任委員会

### 所管事項

戸籍・年金・環境衛生・保健・  
福祉等に関する事



佐藤 彰矩 委員長  
西園 典子 長野 瑳や子  
成田 浩 副委員長  
梶 康博 鶴園 秋男  
谷口 正行

## 産業建設 常任委員会

### 所管事項

農林水産・土木建設・都市計画・  
上下水道等に関する事



大園 貴文 下御領 昭博  
重水 富夫 委員長  
地頭所 貞視 松尾 公裕  
門松 慶一 副委員長  
並松 安文 田代 吉勝

## 教育文化 常任委員会

### 所管事項

学校教育・社会教育・文化・市  
民スポーツ等に関する事



出水 賢太郎 坂口ルリ子  
副委員長  
中島 昭 委員長  
坂口 洋之 田畑 純二  
西峯 尚平

# 平成17年度 施政方針



市長 高 光  
市路 宮

最近の社会情勢は、民間需要の増加や世界経済の回復に伴って、景気回復が底堅く推移している反面で、依然として個人消費の伸び悩みや厳しい雇用情勢、更には、少子・高齢化の進行や高度情報化、環境問題への適切な対応、国、地方を通じた厳しい財政状況など、多くの課題に直面しています。

国においては、平成17年度からの2年間で「重点強化期間」と位置付け、規制改革・民間開放の推進や概ね3兆円規模の税源移譲を目指した三位一体改革の推進を図る「官から民へ」、「国から地方へ」の徹底など5つの課題に取り組みとした「経済財政運営と構造改革に関する基本方針」を昨年策定し、構造改革を推進しております。

一方、地方行政におきましては、中央集権的行政システムから、自己決定、自己責任の観点により、その創意と工夫によって、住民の視点に立った行政を執行す

る、いわゆる地方分権型の国土形成へ向け、また住民の最も身近な自治体で行政のサービスが提供できるようなシステムが転換されてきつつあり、こうした環境の中で、地方財政は、平成16年度に引き続き大幅な財源不足の状況にあり、今後、分権型社会への体制整備と公債費の一層の増加が見込まれることから、将来の財政運営が圧迫されることが強く懸念されているところであります。

現下の極めて厳しい財政状況により、行財政改革の必要性を踏まえ、地方分権時代にふさわしい簡素で効率的な行政システムを確立していくために、歳出の徹底した見直しと重点配分化に努め、行政需要に対する効果的配分と効率的で持続可能な財政への転換を図ることが急務となっております。

平成17年度の日置市の予算は、旧4町がそれぞれ編成した年間予算のうち4月分を除き、5月から来年3月までの11ヵ月分の予算を持寄り編成いたしました。今後は、合併協議会で議論をいただきました「日置市まちづくり計画」を基調として、今後この事務事業の執行に努めてまいります。

## 助役の選任に同意



助役 (総務担当) 美 浩 湯田平

昭和19年生、60歳。昭和42年、東市来町役場入庁。収入役室長、経済課長、総務課長を歴任後、平成17年3月定年退職。  
住所は東市来町湯田。



助役 (産業建設担当) 志 宏 横山

昭和28年生、52歳。昭和51年、吹上町役場入庁。社会教育課長、経済課長を歴任。平成11年9月、吹上町長に当選。2期勤める。  
住所は吹上町永吉。

定例会の最終日に助役の選任につき議会の同意を求める議案が追加上程され、決定されました。

## 教育長就任



教育長 夫 宗 代 田

昭和20年生、60歳。鶴田町教育長、鹿児島市立草牟田小学校校長など歴任。平成17年3月定年退職。

## 監査委員の選任に同意



監査委員 秀 一 南

昭和13年生、67歳。JR九州勤務後、平成15年9月より東市来町監査委員を勤める。



監査委員 矩 彰 藤 佐

昭和14年生、65歳。昭和63年9月伊集院町議に初当選以来、5期勤める。現在、日置市議。

## 臨時議会上程議案

件名	結果
・日置市助役の定数を定める条例の制定について（定数2）	原案可決
・日置市収入役を置かない条例の制定について	原案可決
・日置市長の給与の特例に関する条例の制定について	否決
・日置市議会会議規則の制定について	原案可決
・日置市議会委員会条例の制定について	原案可決

件名	結果
・日置市議会事務局設置条例の制定について	原案可決
・日置市監査委員選任につき議会の同意を求めることについて	同意
・日置市教育委員会委員の任命につき議会の同意を求めることについて	同意
・日置市固定資産評価員選任につき議会の同意を求めることについて	同意
・日置市固定資産評価審査委員会委員選任につき議会の同意を求めることについて	同意

## 6月定例会上程議案

件名	結果
・日置市過疎地域自立促進計画の策定について	原案可決
・日置市長等の給与等に関する条例の一部改正について	原案可決
・平成17年度日置市一般会計予算	原案可決
・平成17年度日置市国民健康保険特別会計予算	原案可決
・平成17年度日置市老人保健医療特別会計予算	原案可決
・平成17年度日置市特別養護老人ホーム事業特別会計予算	原案可決
・平成17年度日置市公共下水道事業特別会計予算	原案可決
・平成17年度日置市農業集落排水事業特別会計予算	原案可決
・平成17年度日置市国民宿舎事業特別会計予算	原案可決

件名	結果
・平成17年度日置市国民保養センター及び老人休養ホーム事業特別会計予算	原案可決
・平成17年度日置市温泉給湯事業特別会計予算	原案可決
・平成17年度日置市公衆浴場事業特別会計予算	原案可決
・平成17年度日置市飲料水供給施設特別会計予算	原案可決
・平成17年度日置市住宅新築資金等貸付事業特別会計予算	原案可決
・平成17年度日置市簡易水道事業特別会計予算	原案可決
・平成17年度日置市立国民健康保険病院事業会計予算	原案可決
・平成17年度日置市水道事業会計予算	原案可決

## 請願・陳情の状況

件名	結果
・中学教科書選定の観点に関する陳情書	継続審査
・情報紛失事件の徹底究明を求める陳情書	採択
・福祉有償運送許可申請に係る運営協議会設置に関する請願書	継続審査

## 意見書

件名	結果
・地方議会制度の充実強化に関する意見書案	原案可決
・地方六団体改革案の早期実現に関する意見書案	原案可決

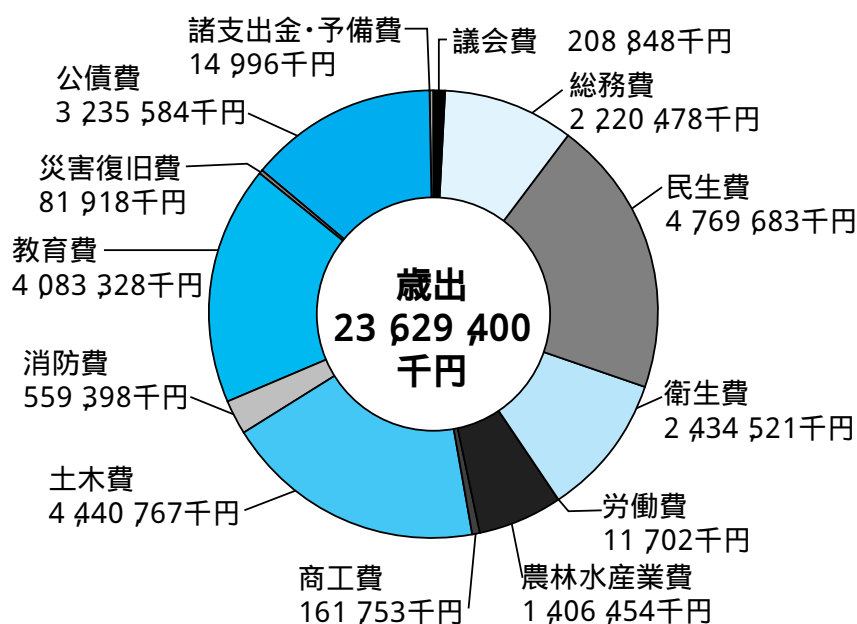
# 日置市予算

特別会計 158億8,598万円

日に付託審査の常任委員会報告の後、原案可決しました。

## 一般会計

### 歳出



科目	予算額
議会費	208,848
総務費	2,220,478
民生費	4,769,683
衛生費	2,434,521
労働費	11,702
農林水産業費	1,406,454
商工費	161,753
土木費	4,440,767
消防費	559,398
教育費	4,083,328
災害復旧費	81,918
公債費	3,235,584
諸支出金・予備費	14,996
<b>歳出合計</b>	<b>23,629,400</b>

## 〔主な事業の概要〕

(単位、百万円)

生活保護費	621
特別障害者手当支給事業	17
児童扶養手当支給事業	106
児童入所施設措置費	4
まちづくり交付金(運動公園)	499
まちづくり交付金(中園住宅)	403
上市来中学校(屋内運動場)	277
江口浜海浜公園整備事業	20
漁港整備事業	59
一般道路整備事業(単独)	397

地方道路整備臨時交付金事業	629
橋梁整備事業(東市来)	105
土地区画整理事業	1,330
公営住宅建設事業(伊集院・東市来)	514
消防施設整備費	65
防災行政無線整備費	18
有線放送施設整備費	3
戸籍事務電算化事業	140
図書館建設事業費(吹上)	395
生涯学習センター整備事業費(東市来)	816

# 平成17年度

## 一般会計 236億2,940万円

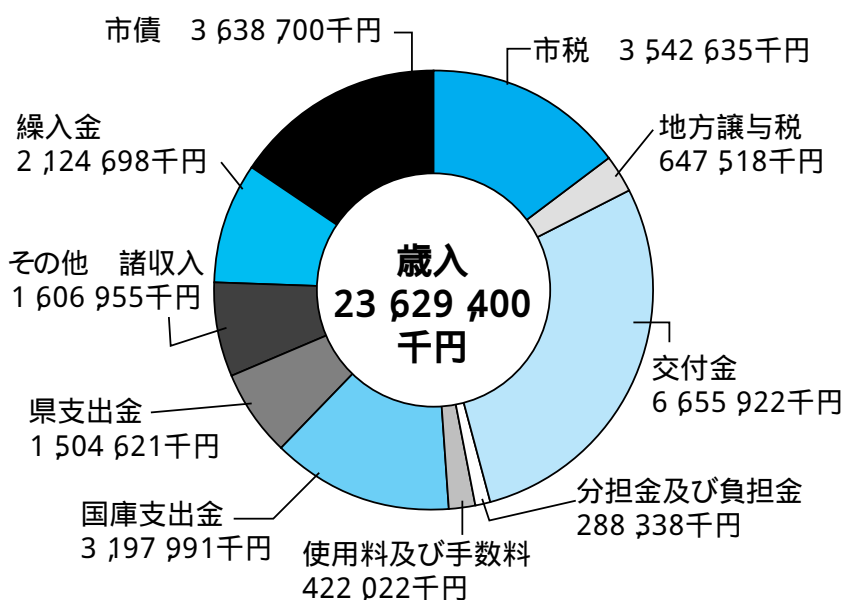
日置市一般会計および特別会計予算は定例会最終日の7月22

### 一般会計

### 歳入

(単位、千円)

科目	予算額
市税	3,542,635
地方譲与税	647,518
交付金	6,655,922
分担金及び負担金	288,338
使用料及び手数料	422,022
国庫支出金	3,197,991
県支出金	1,504,621
その他 諸収入	1,606,955
繰入金	2,124,698
繰越金	0
市債	3,638,700
歳入合計	23,629,400



### 〔特別会計〕

国民健康保険特別会計	5,421,789
老人保険医療特別会計	8,757,905
特別養護老人ホーム事業特別会計	319,045
公共下水道事業特別会計	534,620
農業集落排水事業特別会計	46,651
国民宿舎事業特別会計	284,162
国民保養センター及び老人休養ホーム事業特別会計	170,131
温泉給湯事業特別会計	5,757
公衆浴場事業特別会計	12,410
飲料水供給施設特別会計	731
住宅新築資金等貸付事業特別会計	10,766
簡易水道事業特別会計	322,020
計	15,885,987

### 〔公営企業会計〕

国民健康保険病院事業会計	収益的収入	376,087
	収益的支出	376,087
	資本的収入	4,251
	資本的支出	8,574
水道事業会計	収益的収入	470,358
	収益的支出	470,358
	資本的収入	73,750
	資本的支出	258,958

# これからどうする！「日置市」

より良い市政を目指して

6月定例会では20名の議員が登壇し、日置市の未来を見据え質問を行いました。

## 日置市の活性化・地域振興について



門松 慶一 議員

**問** 旧町の行事・イベント等の特典を生かした、日置市としての活性化をどう考えているか。

**答** 観光協会・商工会がいつしよになつて行政と共に盛り上げていかなければならない。補助金等の削減により、市として行事・イベント等も整理すべきと考える。新しい知恵とアイデアの中で推進していきたい。

**問** 旧町の運動公園・スポーツ施設・合宿施設等の利用促進を日置市としてどう考えていくか。

**答** 市として42カ所の施設を管理、16年度で51万人利用。総合型地域スポーツクラブの設立も進める。市民の施設利用が優先であるが、県内外の利用も考えていきたい。

**問** 旧町の伝統行事の維持・管理の問題をどう考えているか。

**答** 県指定が5件、市指定が4件ある。保存会・実行委員会が維持に苦慮している現状で、市としても保存・後世のためにもできる限

りの補助はしていきたい。

**問** 前質問に伴う相乗効果による商工業の振興をどう考えているか。

**答** 非常に難しい問題である。多くの方が来市することで効果がある。基本的には今までやっていることを継続して、お互いがどのような汗を流すかである。今後商工会・観光協会等と共に協力して企画推進していかねければならない。



鹿児島島の三行 妙円寺詣り

## 行政改革・綱紀肅正の具体策は



花木 千鶴 議員

**問** 地方分権にふさわしい、簡素で効率的な行政システムの具体策

は。また、新市発足後、たび重なる不祥事件が発生。綱紀肅正と職員の資質向上にどう取り組むか。

**答** 市政改革大綱を策定する。行政改革推進委員会の委員を公募し、住民の意見を取り入れる。また、委員会で一年毎の改革評価やチェックをしていく。公共施設の指定管理者制度の導入も考える。公務員倫理研修会やボランティア等の社会体験研修を実施。入札改善委員会の設置等取り組む。また、業務命令としての研修ばかりでなく、職員の自主的な研修意欲を支援する制度を取り入れていく。

**問** 日置市は、自然との調和を生かした都市づくりを基本理念としている。本市の環境自治体宣言の考えはあるか。また、環境保全についての課題は何か。

**答** 環境自治体については環境保全審議会等にはかりながら検討する。森林のもつ多面的機能が損なわれていること。海洋では廃棄物や生活廃水の流入。河川では動植物と共存できる環境・生物への環境軽減工法採用等の必要がある。

**問** 資源ゴミのコンテナ収集方式の全市統一をどうすすめるか。また、収集運搬の委託契約の内容は。

**答** 伊集院地域は既に実施してい



る。他の地域は10月頃からモデル地区実施と説明会を開催していく。運搬の契約は、吹上地域が管理会社との随意契約であり、その他は入札である。

### 市職員の定数削減について どのような方法で行なうか。



鶴園 秋男 議員

**問** 市職員の定数削減について。

**答** 定員管理計画に基づき、削減可能な職員数を目標に退職手当組合等による勧奨制度や、民間にできるものは効率的に活用し、市民への最大限のサービスが提供できるように考えている。

**問** 指定管理者制度の導入による公共施設運営の見直しは。

**答** 地方自治法の一部改正により、指定管理者の範囲は民間企業やNPO法人、その他の団体が議会の議決を経て公の施設の管理を行うことが可能になり、市としても早急に検討し、この制度を取り入れたいと考えている。

**問** 改正介護保険法による地域包括支援センターの創設について。

**答** 地域包括支援センターは、介

護予防マネジメント、虐待防止や権利擁護、高齢者家族に対する総合相談窓口であり、配置する社会福祉士、保健師、介護支援専門員等の人的問題も検討しながら今後運営協議会を設置し、整備していく。

**問** 自治会の再編、統合について。

**答** 自治会は地域の産業、伝統、歴史の共有が深く関わっており、行政効率を考えれば適正規模が望ましいが、市自治会連絡協議会で十分検討し結論を出したい。

**問** 個人情報メモリの紛失事故について。

**答** 旧4町のシステムを市に統合するため三菱電機がデータをコピーしてメモリを所持していた。この事件の最大の原因は行政内部でのチェック機能が働いていなかったことによる。

### 携帯電話の不通話地域解消へ



成田 浩 議員

**問** 国民健康保険資格者の名簿を

電算システム統合業務を請負っていた業者の不始末で、USBメモ

リーを紛失したが、どのように対処され、どのように再発防止に努めるのか。

**答** 業者に対してはお互いのチェックを確実にしない再発防止に努め、職員に対しては、役所内の情報保護管理を徹底する為、外部記憶装置の使用に対して、制限をかけるなど対策を講じる。

**問** 行政が保有する個人情報について、市民一人ひとりからの預かりものと再認識して業務遂行の約束が出来るのか。

**答** 今後再発防止について職員を含めて、調査審議会等を開く。

**問** 安心安全なまちづくりには、情報システムの携帯電話が必要であるが不通話地域解消の為に、どのように計画実施されるのか。

**答** 今年度日吉の扇尾地区に無線システム支援事業でNTTと行政が共同して鉄塔を建設し、光ケー



整備が急がれる携帯のアンテナ塔

ブルで不通話地域の解消をはかる。設置場所、時期は協議していく。他の地域も順次進める。

**問** 住民の利便性と地域の活性化を考えて、美山のインターを実現したいがアクセス道路も含めて市としての対応は？

**答** これまでも陳情してきたが、新たに日本道路公団に美山のインターの設置に関する要望書を提出した。鹿児島方面へのハイフインター方式で、工事費については本市の全額負担が条件である。

### 新市の課題への対応と市政大改革をどう考えているか



田畑 純二 議員

**問** 新市の大きな課題である均衡ある発展をどう考えているか。

**答** 日置市まちづくり計画の地域別の振興方向を出来るだけ早急に実現できるように取り組む。道路網の重点的整備を図り、情報過疎にならぬようケーブルテレビ等で、市内どこに住んでいても情報を共有できる環境をつくる。

**問** 将来的にも進行していくことが予測される過疎化・少子高齢化

への対応をどう考えているか。

**答** 高齢者の介護予防や生活面での支援を充実しながら、社会参加を促進し、広域交通サービスや市内循環バス等による利便性の向上を図っていく。安心して子供を産み育てる環境づくりを進めるため、地域全体で子育て支援ができる環境の充実に進める。交流人口の増加や定住促進に取り組む。

**問** 吹上浜の一体的活用を図り持続可能な観光等探るべきでは。

**答** 今後市全体で各地域のイベント、グリーンツーリズム、温泉等で持続可能な観光を育てるため、まちづくり計画の吹上浜アスリートの森づくりプロジェクトを進め、滞在型の観光に発展させていく。

**問** 市政大改革は。市政改革大綱を作成し、本格的な業務委託で公共サービス向上を目指すべきでは。

**答** 行財政の合理的運営、市民サービス向上の為策定する。

**問** 不祥事再発防止の対策は。

**答** 調査委員会等で現状を調査分析し、全職員用の規則等をつくる。



## 県道改良促進について 市長の施政を伺う



田丸 武人 議員

**問** 日置市誕生に伴い、旧4町が共に繁栄していかねばならない。そのためには、市道はもとより国道に続き県道の市内アクセス道路の改良促進が先決である。

**答** 市長は公約のなかに地域の地理的優位性を活かし、どこに住んでも不便を感じない社会基盤づくりを進めるとかかけており、地域住民は大変期待している。

そこで県道改良の状況と、国県ともに厳しい財政状況にあるが、積極的に改良促進について働きかけていくべきではないか。

**答** 市内には主要地方道が5路線で延長42km、改良済が35km、83%の改良率で県平均77%であり、主要地方道は遅れていないようである。

一般県道は市内に15路線で延長77km、うち改良済が29km、37%の改良率で、県平均は53%に達しており、相当遅れている。

これからは、合併支援道路として鹿児島東市来線、郷門市来線、

永吉入佐鹿児島線、地域振興支援道として養母長里線、地域物流道として仙名伊集院線、山田湯之元停車場線、谷山伊作線、高速インターへのアクセス道路等、今後更に整備を促進していかねばならないと思っており、県へ積極的に要望していく。

## 効率的な行政運営と自主財源比率を上げるために!!



上園 哲生 議員

**問** 合併時持寄り市債残高合計359億5千万円、19の基金合計58億302万円でのスタートに当り、行政サービスを低下させることなく効率的に運営するために、また民間に新しいビジネスチャンスを与える為にも民間でできる事は民間に委託する「指定管理者制度」にどう取り組むのか。

**答** 現在の管理委託制度が来年9月までという短い期間の中で、歳出の削減を主たるテーマとして洗い直しをして、できる所から進めていきたい。

**問** 次に、歳出カットだけでなく、税収を上げ自主財源比率を高く



シャッターのおりた商店街

める為に、遊休資産化している工業団地の有効利用、商店街の活気・集客につながる空店舗対策は。

**答** 地域の活性化ということから、4カ所の工業団地が造られた。現在、清藤工業団地・亀原工業団地に残っている区画がある。

売却か賃貸借方式で行くのか十分に検討し、少しでも財源補充に努めていく。また、商店街の空店舗についても商店街活性化事業等を通じて、空店舗を観光案内所・休憩所・展示販売所等、商工会と充分に協議をしながら活用していく。

**問** 廃屋として現存し、近隣に実害を及ぼす恐れのある物に対して行政としての対応は如何に。

**答** 財産権の問題があるが、環境美化・危険箇所等の観点から所有者に協力要請をして行く。

合併して良かった  
そんなまちづくり



重水 富夫 議員

**問** 新市の市庁舎へのアクセス道路等の整備の考えを伺う。

**答** 17年度は旧町の計画で実施、18年度以降、旧4町間を結ぶ線を、新設を含め合併特例債等の有利な起債等で事業実施したい。

**問** 崖下などの危険な住宅等、毎年度事業実施している。各地域多く残っているが今後の対応を伺う。

**答** 16年度旧4町で13カ所、17年度11カ所予定。今後県に強く要望し、進めていく。

**問** 上水道、簡易水道の普及はどの程度か、特に伊集院地域で遅れているようである。今後の対応を伺う。

**答** 東市来98%、伊集院82%、日吉97%、吹上96%の普及率である。今後遅れている地域は補助事業等で早期実施に努める。

**問** 吹上の農村集落排水事業、伊集院の下水道事業は現在まで進めて来たが、今後の進め方は。

**答** 下水道事業は双方とも事業の

拡大は大変難しい。今後は合併浄化槽を取り入れた補助事業で進めていく。

**問** 学校給食の食育を考えた時、地元で取れた食材に生産者の見える安全、安心な地場産米、農産加工品、野菜等、活用の仕方に差があるが考えを伺う。

**答** 4地域で差がある。食農教育を考えた時、出来ることから積極的に取り組んでいく。

美山のパーキングエリア整備事業について伺う。



谷口 正行 議員

**問** 美山のパーキングエリア（以下、PA）が日置市に必要な施設



美山のパーキングエリア予定地

になるかと疑問である。市長はPAについてどう思うか。又、美山のインター（以下、IC）設置が決まったとのことだが、美山PAとの関係はどうなるか伺いたい。

**答** 美山のPAはICの計画がなされたので白紙に戻った。現在境界の測量がなされており、終了後地権者にお返しする。又、IC設置については今年の予算で実施設計し、取り付け道路や見積りなど国道事務所と協議していく。着工は来年の予定である。

**問** 少年非行犯罪の対応策として家庭、学校、地域社会が一体となり社会的連帯感及び規範意識の回復を図り犯罪を誘発しない環境づくりが大事である。又、子供の教育に対する大人の常識、知識のなさ、子供を誤った方向に育てているのではと思う。施政方針にも子供の健全育成を図っていくとの事だが、具体的にどう取り組んでいけるか。

**答** 少年問題協議会を福祉課で、青少年健全育成市民会議を社会教育課で、校外生活指導連絡協議会を学校教育課で取り組む。青少年問題協議会では各種機関との情報交換や対策を検討し、その趣旨を徹底していく。これを受けて健全育成市民会議では団体・地域が具体的な事業に取り組む。地域や家

庭、関係団体が一体となってこのシステムが最先端までしっかりと機能するよう努力していく。

中学校教科書の採択作業について



池満 涉 議員

**問** 市長の思いを伝え、市民の声を聞き、自治会を活性化させ、自治会の活動をサポートする職員の配置を考えないか？

**答** 広報誌等を通じ思いを伝え、定期的な自治会長との協議の場を設け意思疎通を図っていく。災害発生時に限らず、職員配置できる制度を検討していく。

**問** 中学校の教科書採択作業が始まっている。採択協議会と研究委員会の構成メンバーを示せ。

**答** 採択協は二市二町の教育長とPTA会長が2名、日置市学務課長の計7名である。研究委員会は、二市二町の校長、教頭、教諭の合計42名である。

**問** 本市教育委員会は作業にどのように関わるのか。

**答** 採択協の経過を都度報告し、全ての教育委員に意見を求める。

**問** 全ての見本は、学習指導要領に合致していると思うか。

**答** 国の検定をパスしているの  
で、合致していると思う。

**問** 社会科の教科書の内容が、多発する少年犯罪に影響しているとの指摘もあるが、どう思うか。

**答** 少しは、影響あるかもしれないが、今の社会現象が最も影響していると思う。

**問** 採択作業終了後、その経過の報告はどうするか。議会にも報告するか。

**答** 正式には、採択協議会で決定するが、情報公開の原則に従い公表する。もちろん議会にも報告できる様にしたい。



坂口ルリ子 議員

### 福祉巡回バスの運行は

**問** 福祉巡回バスの運行は。

**答** 今後、市内全域を視野に入れた路線バスの運行を考えていきたい。ゆすいん号との競合も考慮し、18年度から実施できるようにしていきたい。

**問** 8月15日の町内一周駅伝が時期変更と場所が運動公園となった

ことの経緯は。

**答** 県下一周駅伝での事故が原因で、公道での駅伝を警察が許可しない方向で、場所と時期をかえた。

**問** 8月15日 戦後60年節目の年。市として、平和の映画会等計画はないか。

**答** 考えていない。12時ごろ黙祷するように防災無線で呼びかける。

**問** 遠距離通学補助の実施は？

**答** 旧東市来・日吉・吹上町は今まで通り4月に補助金を出したが、旧伊集院町は、年度途中(5月)の合併なので、18年度から実施していく。

**問** 災害対策について。

**答** 6月13日 防災会議を開いて、それぞれの地域で検討をした。その結果をうけて、9月に補正を組み、ハザードマップを作成し17年度中に配布する。

備蓄はどの地域も少なく、今後どれ位の備蓄が必要なのか検討して確保に努力する。

**問** 国保税について「サービスは高く、負担は低く」と合併前に言われたが、税が高くなったとの声を聞く。どう思うか。

**答** 合併して、国保の税率は前と変わらない。5年で均一課税とする。納期は今まで通り年6回にする。

### 業務の民営化を図ることに ついて



佐藤 彰矩 議員

**問** 市民サービス向上と地域活性化の観点から外部委託、民営化の方策はどのように考えているか。

**答** 行政に携わるあらゆるものについて、民営化した場合のコスト削減やサービスが行き届くかどうかを検討している。12月をめどにそれぞれの部門で見直しを図り、18年度に指定管理者制度の導入を目指す。検討の対象となる公共施設は大きなもので240前後である。委託することになれば、条例の改正をし、公募した民間の



現在作業委託されているリサイクル業務

事業者を選定する。指定管理者制度の導入期限は18年9月と厳しいスケジュールではあるが、9月から移行するものとそれ以降にさせるものとを整備し、スムーズに移行できる方策を検討したい。また民間に委託した後、事故等で市民に迷惑がかかることのないよう、業者との契約の上で注意を払いたい。

### 工業団地及び市有地への進出 企業の現状と今後の見通しは



並松 安文 議員

**問** 市内にある3カ所の工業団地への企業の進出状況は。

**答** 東市来の皆田工業団地は3社で完売。伊集院の清藤工業団地は1社進出残りが2区画。吹上の亀原工業団地は2区画あり、1社進出後倒産、残りが1区画。

**問** 今後の見通しは。

**答** 早急に工業団地や、市有地に企業が進出するよう努力する。誘致戦略プログラム策定を通じ、進出企業と地元企業の連携をはかっている。特に厳しい状況にあるので企業誘致戦略プランを

策定していく。各工業用地で販売単価、造成価格が違い、各場所に合わせて価格で販売してきた。地元活性化を考えると価格を上げて販売しなければならぬ。それには公費を投入しなければならない。地元雇用の確保を含め、開発公社の委員、議会、市民の皆さんと協議していく。

また市有地の有効活用は、福祉分野に使用するか、健康づくりやいいこの場として利用するか、もしくは地域の商店街の活性化に利用するかなど、検討委員会をつくって解決していく。

### 過疎地の人口減少歯止めの定住化対策と道路改良について



松尾 公裕 議員

**問** 旧4町が合併をして一体的発展は重要である。しかし旧町はそれぞれ個性があり、その特徴を活かしてこそ日置市の発展につながると思う。しかしながら合併をして中心部だけに人や産業が集中して周辺部が「さびれる」ことが懸念される。

人口の将来の統計は伊集院地域



インフラ整備が望まれる山間部

を除けば、軒並み減少であるが現実的には大幅に減少するのではと考えるが、人口減少歯止め対策としての定住化対策が必要と思われるが、又産業の振興や住み良い地域社会をつくるには、現在の県道や市道の改良を積極的に推進していくことが、過疎化している旧町の活性化につながると思うが。

**答** 住み良さを実感できるインフラ整備を進めながら県道や市道の整備をしていく。各地域の定住化促進策を基本に日置市の具体的な施策を進めていく。

### 安心して暮らせる日置市をめざして



西園 典子 議員

**問** 男女共同参画の基本計画策定や推進はどの様にするか。子育て支援の具体策として、親子利用ができるベビーチェア付きトイレや、健康保険適用外の妊婦健診の助成増の検討はできないか。又、個人情報紛失は、旧伊集院町汚職事件に加え、管理責任が問われる。管理の実態と認識を伺う。

**答** 市の発展のためにも男女共同参画推進は重要な課題。今年度中に懇話会を作り、アンケート等で意見集約して基本計画を策定。平成20年度には行政委員の女性割合50%をめざす。子育て支援は急務の課題。子育て世代の意見等聞きながら緊急な所から整備していく。健康な母子育成のため、現在2回の無料健診を来年度予算で若干増やしたい。情報管理を互いの信頼や契約に頼り、十分な管理体制が整備されないまま作業が進められた事は、管理者として責任がある。事故に対しては、十分調査して、それぞれの責任をきちんとしたい。



ベビーチェア付きトイレ(東市来保健センター)

### 職員の意識昂揚について



畠中 實弘 議員

**問** 元職員の起こした事件により、職員の士気はすこぶる低下している。対策について。

**答** 綱紀粛正、意識改革を図り一日も早く立ち直り、街全体の活性化のけん引車になってもらいたい。そのために豊かなチャレンジ精神で積極的に行動する職員を奨励し評価する職場風土づくりを確立する。

**問** 贈収賄、談合等一連の不祥事は日置市行政の信頼を大きく損ねているが、旧伊集院町時代から長く尾を引く負の遺産であり、根は

至って深い。結果的に事件のありで関係者は仕事も激減し、死活問題になっている。

想像以上に厳しい局面に立たされているこの現実を、市長は最高責任者としてどのように受け止めているか。

**答** 思わぬ事態に陥って、市全体の混乱を招き、市民の皆様にも大の不安と迷惑をおかけしたことで心を痛めている。責任は重い。深くお詫びしたい。

信頼回復のために職員共々、意識の昂揚を図り、率先垂範して明るい街づくりに邁進していく覚悟である。

**問** 再発防止について。

**答** 正常化に向けて全力投球する。多少、時間はかかっても問題を確実に促え、ひとつひとつ解決していく。



自主財源を増やす施策を。農業大学校や試験場と産地づくり。



田代 吉勝 議員

**問** 自主財源確保について。地場企業との交流はどのようにしているか。

**答** 市内の企業や農水産業などあらゆる業種と交流の場を持ちながら情報交換を図っていき、これらの企業の悩みやアイデアなどを受け入れながら、日置ブランドなどを確立して雇用促進に役立てたい。

**問** 企業誘致や財源を増やすためにどのような施策を持っているか。

**答** 企業のニーズを把握しながら地域の特性に応じた企業誘致戦略プログラムを作成し、確実な業種の確保により雇用促進や法人税の確保に努めたい。

**問** 農業振興について。農業法人など若者の職場として考えられないか。

**答** 茶生産や野菜農家が法人化している。また法人化にしようとする農家がある。吹上に農業公社が



県農業大学校内（吹上）

ある。特にアグリサポート吹上では、農作業受託事業の機械使用オペレーターとして若者が働いている。

新規就農者の受け入れに関東関西に募集に行っている。平成15年以降9人の受け入れをし、農家でアスパラやソリダゴ等の栽培を2年間研修して自立経営している。行政側も協力していきたい。

**問** 県農業大学校や県農業試験場との交流で産地作りをしたいが。

**答** 農業試験場の設置により日置市の農業振興に期待している。地域の気象条件の中で研究された成果を産地づくりに活用していく。

乳幼児医療費の負担引き下げと平和行政について



坂口 洋之 議員

**問** 日置市は乳幼児医療費の受益者負担が県外や県内他町村に比べて負担が高い、少子化を考えれば負担軽減を考えるべき。負担軽減と該当年齢を就学時まで引き上げられないか。乳幼児医療費負担の手続きを、鹿児島市と同じように病院で手続きできないか。若い世代は、給料が上がらず税金・年金・保険料の負担が大きくなるばかり。負担軽減を考慮して欲しい。

**答** 合併協定項目の中に少子化対策、乳幼児医療の充実をうたっている。現在、日置市として次世代育成支援計画を策定中であり、本年度中に乳幼児医療制度を改正する。鹿児島市民は鹿児島市内の病院を利用するが、日置市民はいろんな地域の病院を利用するので難しい。

**問** 日本は世界で唯一被爆国である、戦争の悲惨さをむごさを学んだ日本だから平和を伝えなければならぬ。鹿児島市は、平和予算を年間400万円程度組み、ポス

ターや標語を募集している。本市も平和教育予算を組んで欲しい。

**答** 旧町でも非核平和宣言・平和都市宣言が制定されていた。日置市についても必要性を考慮して検討する。しかるべき時期に提言したい。

### 市長の政治姿勢について



東 孝志 議員

**問** 平成17年度の施政方針に接し、市長の政治姿勢に大きな失望を感じた。旧伊集院町時代に発生した職員の汚職問題、個人情報漏洩事件など一連の不祥事に対して市民へのお詫びはおろか、一言一句も触れていない。職員の倫理観の欠如、公正な職務執行能力の不足、情報管理意識の低さ等、公務員が当然身上とすべき資質が欠落していると思われたい。その最高責任は誰にあるか。

**答** 職員の汚職について色々と報告申し上げ、お詫びしたつもりである。今後、職員の汚職問題について、司法の場において説明されると思う。行政においては入札改善委員会で調査をしている。責任

者として責任を感じている。

**問** 個人情報紛失の件で、危機管理が出来なかった責任に対して、具体的にどのような対応するか。

**答** 契約上の不都合が生じている。民法上の事であるのでどのような責任の取り方があるのか、業者にしても行政としても、弁護士と相談しながら対処していく。今後は、二度とこのような事件が起らないよう、職員の指導をしていく。



日置市本庁舎

### 国保資格者の情報紛失に対する行政責任と再発防止策について問う



漆島 政人 議員

**問** 情報持出しの一番の防止策は無断で情報がコピーされない事であるが、その策は講じられていたのか。

**答** ハード的制約はかけられなかった。

**問** 当初からコピーの必要なものは申告制にし、作業が終了した時点ですべて焼却処分する契約内容にするべきではなかったのか。

**答** 契約の但し書きの中にその事も記されていたが結果的に無断でコピーされていた。

**問** 行政責任として、当初から情報が紛失するような事は起きないだろうという意識の低さがあったのではないか。また作業時間が不足していた事も考えられる。これらの責任は市長の情報管理に対する意識の問題があったと認識するが。

**答** 大変責任を感じている。再発防止策はどう講ずるのか。



USBメモリ(類似品)

**答** 情報保護管理を徹底していくため、フロッピーディスク等の外部記憶装置の使用に制限をかけるなどの対応をしていく。

**問** 先の土木事件も同じ事が言えるが基本的な信頼関係や倫理心の欠如によって事件は発生している。従って再発防止の基盤づくりは職員自ら再発防止策を検討していくシステムづくりが必要だと認識するが。

**答** 合併したばかりでお互いの心も見えない状況にある。今後は縦の連携も図っていく中で横の信頼関係づくりも重視していく。何と云っても人としての道徳心をどう培っていくか、一番の課題であると認識している。

# 常任委員会審査報告

## 総務企画常任委員会

### 平成17年度 一般会計予算

今回の予算は旧4町で歳入に見合った歳出ということで、編成した持ち寄り予算である。

4月の旧町分の13億円程度を持ち込み、それを含めて残り11カ月の年間予算となり総額は、歳入歳出それぞれ236億2940万円となった。

### 歳入の主なもの

地方交付税は旧町の4月分を差し引いた59億3966万円。

国・県支出金は道路・住宅などの事業に伴う47億261万円。

市税は市民税・固定資産税など35億4263万円。

繰入金金は財政調整基金等からの繰り入れ21億2469万円。

諸収入は旧4町分と、クリーンセンターの繰越金13億4612万円を含む15億1850万円。

地方譲与税は自動車重量譲与税などを含む6億4751万円となっている。

今年度の地方債の主なものは、交付税の不足分を補う臨時財政対

策債8億1800万円のほか、各地域の建設事業費など総額36億3870万円となった。

また債務負担行為については、土地開発公社の債務保証、電算機のリースなど79件で今年度以降の支出予定額11億6359万円。

なお、地方債の17年度末の残高は309億6094万円と見込まれている。

総務企画常任委員会関係で歳出の主なものは議会費2億884万円で議員30人分の報酬と職員5人分の人件費など。

総務一般管理費は6億8280万円で委員等報酬、市長、助役、職員の給与など。

会計管理費は1億1621万円で支所を含めて職員12人分の人件費と印刷製本費、公金の振り込み引き落とし手数料など。

財産管理費は8540万円で庁舎の光熱費、通信運搬費、管理費など。

企画費は3億4975万円で職員の人件費、合併にかかる経費、議場の音響改修費など。

情報管理費は2億3045万円で職員の人件費、電算機保守管理

費機器のリース料など。

税務総務費は1億4261万円。賦課徴収費は2189万円。選挙費は8359万円。消防費は合計5億5939万円。商工費は1億6175万円。

なお、起債を償還する公債費は元利合計32億3558万円である。

### 質疑の主なもの

問 三位一体改革等の流れの中でこれからの交付税の見込みについて。

答 旧4町の実績では平成15年度が74億8744万円。16年度が73億9218万円であった。17年度は71億7437万円計上した。年々漸減しており、追加交付も望めず見通しは非常に厳しい。

問 税金の滞納額はいくらか。  
答 市民税、固定資産税、法人市民税、軽自動車税合わせて、2億3429万円になる。

平成17年度 日置市国民宿舎事業特別会計予算

歳入歳出の総額は、それぞれ2億8416万円となった。歳入の主なものは経営収入で2億4597万円、歳出の主なものは経営費

の2億4709万円である。

### 質疑の主なもの

問 年間の利用者数について。  
答 宿泊客が1万5939人、休憩が3万5744人。

平成17年度 日置市国民保養センター及び老人休養ホーム事業特別会計予算

歳入歳出の総額は、それぞれ1億7013万円となった。歳入の主なものは事業収入で1億6532万円、歳出の主なものは事業運営費の1億6889万円である。

### 質疑の主なもの

問 年間利用者数について。  
答 宿泊、休憩、入浴、合わせて77万2865人。



江口浜荘（国民保養センター及び老人休養ホーム）



## 環境福祉常任委員会

### 平成17年度 一般会計予算

戸籍住民基本台帳費は3億4042万円であり、除籍戸籍電算化事業、出産祝金等。民生費47億6968万円の主な事業は、老人や障害者等の介護予防、生きがい活動支援事業、健康づくり複合施設ゆすいん事業、介護保険事業負担金、児童福祉施設費、児童クラブ及び児童館運営費等。生活保護総務費事業は福祉事務所設置に伴うものである。衛生費24億3452万円の主な事業は、国民健康保険事業、老人医療事業、水道事業、簡易水道事業等の特別会計への繰出金、各種健康審査事業、クリーンリサイクルセンター運営費、浄化槽設置事業及びウミガメ保護監視員設置事業費等を含む。

### 質疑の主なもの

**問** 高齢者ふれあい給食サービスの見込みは。  
**答** 伊集院92食、東市来160食、日吉108食、吹上140食である。  
**問** 県より移管の福祉事務所の事業内容は。  
**答** 生活保護、社会福祉統計、国庫債券借上げ、老人保護措置費支給、特別障害者手当支給、児童・

妊産婦の相談、児童扶養手当認定、児童母子保護である。

**問** ゴミのコンテナ収集をどう進めるか。  
**答** 伊集院地域を参考に1カ所に2人指導員を交代で配置し、また自治会への説明会、指導員の研修等を行い、ゴミ分別による再資源の意識の高揚を図りたい。

**問** 環境調査モニターは各地域に設置すべきではないか。  
**答** 来年度より検討する。  
**問** 子供にやさしい街づくり事業の効果は。  
**答** 乳幼児や母子対象の地域活動事業であり、母子福祉推進員活動も含める。今後は地域の方々と一緒にサポートできる体制が必要とされる。



ゴミのコンテナ収集

平成17年度 国民健康保険特別会計予算  
 歳入歳出の総額を54億2178万円と定めるもので、被保険者の高齢化、医療技術の高度化、生活状況等の変化により医療費が増加する中、高医療市の国県指定を受け医療費適正化対策事業が含まれている。

**問** 基金積立の状況と今後の見通しは。  
**答** 合併時の基金持寄り額3億4620万円、準備基金の目標である医療費の3カ月分に向け、医療費の抑制に努めたい。

平成17年度 日置市老人保健医療特別会計予算  
 歳入歳出総額87億5790万円で歳出の98%は医療給付費である。75才以上及び65才以上74才以下の寝たきり等の障害認定を受けた医療受給者9759人が対象。

平成17年度 日置市特別養護老人ホーム事業特別会計予算  
 日吉支所の青松園に係るものである。  
 歳入歳出総額3億1904万円で要介護度1～5の認定者80人が入園、ショートステイ12床がある。歳出の人件費は職員等49人分である。

平成17年度 日置市温泉給湯事業特別会計予算  
 吹上支所で実施され、歳入歳出総額575万円である。給湯先7軒分の温泉使用料が歳入の主なもので、歳出は電気料及び給湯管布設替え等である。

**問** 対象者と職員の対比はどうか  
**答** 3対1に比べ多い方、グループ生活を重視したユニットケアの介護サービスを推進していきたい。

平成17年度 日置市住宅新築資金等貸付事業特別会計予算  
 本庁及び日吉支所に係るもので歳入歳出総額1076万円。新規貸付はなく、返還事務のみである。

**問** 最終償還はいつか。  
**答** 平成27年に借入れ償還、平成30年に起償償還となる。

平成17年度 日置市公衆浴場事業特別会計予算  
 吹上支所の日置市営公衆浴場に係るもので、歳入歳出総額は、1241万円。電気料等の管理運営費および維持補修費、委託賃金等である。

平成17年度 日置市住宅新築資金等貸付事業特別会計予算  
 本庁及び日吉支所に係るもので歳入歳出総額1076万円。新規貸付はなく、返還事務のみである。

**平成17年度 日置市立国民健康  
保険病院事業会計予算**

市民病院（旧日吉町立病院）に係るもので収入支出総額3億7608万円と定める。収入の主なものは医業収益であり、支出の7割は職員28人、臨時職員20人分に係る人件費である。

**問** 病院の整備等、総合的に検討する考えは。

**答** 起債償還期限は後3年間であるが、建物の老朽化等も今後の検討課題である。

**産業建設常任委員会**

**平成17年度 一般会計予算**

農林水産業に関わる予算は、14億645万円である。

農業総務費の中で吹上農業公社への補助金は機械や農地の貸し借り、農作業の受委託等業務である。農業振興費では、活動火山降灰対策事業でテアン農園生産組合、永吉アスパラガス生産組合に対する補助金である。また、中山間等直接支払交付金は、急傾斜地や緩傾斜地に直接支払う制度で、伊集院22地区、東市来26地区、日吉6地区、吹上19地区である。畜産業費の中で、受精卵移植用供卵牛導入（和牛一頭）事業は高品質

の生産を行うもの。また、県単農業農村整備事業は、伊集院地区3件と吹上地区1件の計4カ所の事業。県単補助治山事業は、東市来、伊集院、吹上の3カ所で800万円以下の事業である。

次に土木費に関わる予算は44億4076万円である。道路改良費は過疎対策で5路線、辺地対策で2路線、半島振興道路整備で3路線、一般単独で37路線、地方道路交付金事業が3路線等である。

また、土地区画整備事業は湯之元地区と徳重地区で、工事請負費3億8972万円と建物補償金7億7761万円である。土地購入費は湯之元JR敷地1500㎡分。公営住宅建築は紙屋敷住宅（東市来）、飯牟礼住宅（伊集院）、中園住宅（伊集院）、湯ノ浦住宅（吹上）の4団地である。

**質疑の主なもの**

**問** 市道については、旧町道をそのまま市道にしたのか。

**答** 町道認定していた分はそのまま市道になる。今後については、市道の認定基準にしたがって認定していく。

**問** 都市計画で、徳重地区と湯之元地区は計画どおり進んでいるか。

**答** 徳重地区が78%で湯之元地区

が17%の進捗状況である。  
**問** 水道管の中で石綿管の配水延長はどれ程か、又、アスベスト被害が出ているが、この石綿管での人体に対する影響はないか。

**答** 石綿管は市全体で3、784mである。又、アスベストは空気中のものを吸い込むと害があるが、飲み水では現在のところ人体に影響はない。



吹上地域のアスパラガスハウス

主なものは下水道使用料1億5472万円と一般会計繰入金2億1796万円である。

**平成17年度 日置市集落排水事業特別会計予算**

歳入歳出それぞれ4665万円で、吹上地域の永吉地区を対象とした事業である。

**平成17年度 日置市飲料水供給施設特別会計予算**

歳入歳出それぞれ73万1千円である。

**平成17年度 日置市簡易水道事業特別会計予算**

歳入歳出それぞれ3億2202万円である。この簡易水道は日吉地域2地区、吹上地域8地区で行なっている事業を持ち寄り、予算を一本化して計上したものである。

**平成17年度 日置市水道事業会計予算**

収益的収入支出が、それぞれ4億7035万円である。この水道事業は東市来地域の上水道1地区、簡易水道1地区、伊集院地域の上水道1地区、簡易水道10地区を持ち寄った予算である。

**平成17年度 日置市公共下水道事業特別会計予算**

歳入歳出それぞれ5億3462万円である。この事業は伊集院地域の妙円寺地区、徳重地区を中心とする下水道事業である。歳入で

# 教育文化常任委員会

## 平成17年度 一般会計予算

- 教育委員会費 853万円
- 事務局費 4億5574万円
- 小学校管理費 2億7043万円
- 小学校教育振興費 7271万円
- 小学校建設費 3200万円
- 中学校管理費 1億3909万円
- 中学校教育振興費 4814万円
- 中学校建設費 3億1841万円
- 幼稚園費 5835万円
- 社会教育総務費 2億8711万円
- 公民館費 1億7523万円
- 図書館費 4億4144万円
- 社会教育施設費 9億4393万円
- 保健体育総務費 4302万円
- 体育施設費 7億995万円
- 給食センター費 7745万円

### 質疑の主なもの

- 問** 日置市の中学校の生徒数、小学校の児童数はどうなっているか。
- 答** 小学校は20校、2988人、153学級。中学校は7校、1597人、58学級。
- 問** 給食センターの従業員数は。
- 答** 伊集院は職員2人、調理人2人、臨時4人、パート6人。東市来は事務1人、栄養士1人、調理人3人、パート12人である。
- 問** 小学校工事請負費の内訳は。
- 答** 東市来湯田小温室工事、吹上

永吉小暗渠排水工事、和田小外壁工事である。

**問** 日置市立幼稚園の園児数は。

**答** 東市来幼稚園26人、飯牟礼幼稚園26人、土橋幼稚園11人、伊集院北幼稚園10人、日置小付属幼稚園10人である。

**問** 日置市の学校医・歯科医・薬剤師の担当は総体的に安いのは。

**答** 国県の基準を調べて対処する。

**問** 私立幼稚園奨励費補助対象は。

**答** 神村学園付属17人、朝日ヶ丘198人、伊集院112人、吹上中央29人、恵光1人、すみれ2人、加世田聖母2人、計361人である。

**問** 地域公民館の建設費補助金は。



建設中の吹上図書館（完成予想図）

**答** 合併協議会で原則として17年度に限り、400万円と決めた。

**問** 吹上に建設中の図書館の場所と概要は。

**答** 旧伊作駅の裏、敷地は約300坪。子育てにやさしい図書館をめざし、来年1月完成、5月頃オープン予定。総工費7億円弱である。

**問** 図書館（室）の司書補の配置は。

**答** 小学校は東市来2人、伊集院2人、日吉5人、吹上4人である。中学校は東市来・伊集院各2人、日吉・吹上各1人である。市立図書館は東市来・伊集院・吹上に各1人、日吉はいない。

**問** 体育指導員30人の内訳は。

**答** 東市来8人、伊集院8人、日吉7人、吹上7人で、女性13人、男性17人で平均年齢50才位である。

**問** 旧4町の運動会は役場職員が競技役員になっていたが、今年の協力体制はどうなっているか。

**答** 今年から地域運動会では、職員はボランティアで協力することだけ決めた。他のイベントは未定である。

**問** 旧4町の体育祭は18年度以降はどうなるか。

**答** アンケートや先進地を視察して、9月頃までに決める。

# 議会の動き

## 【6月】

- 2日 議員懇談会
- 3日 議員懇談会
- 9日 第一回臨時会第一本会議
- 10日 第一回臨時会第二本会議
- 20日 全員協議会
- 23日 議会運営委員会
- 27日 日置地区消防組合議会臨時会
- 30日 第二回定例会第一本会議  
全員協議会

## 【7月】

- 1日 総務企画常任委員会
- 7日 第二回定例会第二本会議（一般質問）
- 8日 第二回定例会第三本会議（一般質問）
- 11日 第二回定例会第四本会議（一般質問）
- 12日 第二回定例会第五本会議（一般質問）
- 13日 総務企画常任委員会
- 14日 環境福祉常任委員会
- 14日 総務企画常任委員会
- 14日 環境福祉常任委員会
- 15日 産業建設常任委員会
- 15日 環境福祉常任委員会
- 15日 産業建設常任委員会
- 20日 議会運営委員会
- 22日 全員協議会
- 28日 第二回定例会最終本会議  
滋賀県東近江市議会視察来庁



伊集院 奥 紀代子

最終本会議をお友達三人誘い合  
て、はじめて傍聴に行きました。  
各委員会に付託された議案の審  
査の経過と結果について委員長から  
報告があり、質疑、討論、採決が行  
われました。表決の場面では議員さ

# 傍聴席から



東市来 上村 静好

新生日置市の本会議を傍聴しま  
した。委員会は1回も行けなくて残  
念でした。一般質問通告書に議日  
程表がつけてあったら予定を組め  
かと思えます。

一問一答を中心に、国会の委員  
会方式に近いやり方は、総括質問式



んは立ちたり、座ったり、また投票も  
ありで、テレビでみる国会の模様と  
よく似ているなと思いました。  
その後、一般会計予算等の議案  
が可決され、陳情等も粛々と審議さ  
れ決定されました。  
いままで議会のことは、難しい問

より深まりがあり聴く方も分かり  
易いでした。中には不慣れな議員さ  
んもいて、議長に注意を受ける場面  
もあったが、皆さん個性ある質問を  
展開されました。30人中女性3人男  
性17人が登壇されました。  
何でだろう？ 国・県等は今夏  
クールビズで議会などやり始めてい  
るが当議会はネクタイ・上着姿でし

題だと思い込み敬遠気味でしたが、  
熱心に傍聴しているうちに、予算の  
内容についても判るようになり、助  
役選任などの人事案件の同意など  
も知り、執行部と議会の緊張感を  
臨場体験できてよい勉強になりました。



## 傍聴に 来てみませんか

- ・だれでも自由に傍聴できます。
- ・受付簿に住所、氏名を記入していただだけです。

た。傍聴席は半袖に短パン姿もあり  
さわやかでした。

傍聴席をつめる工夫について、私  
達選挙民が大いに考え行動すべきで  
はないでしょうか。日本相撲協会は  
入場者をいかに増やすか努力してい  
ます。市議会の傍聴席を「満員御  
礼」にしたいものです。投票した・し  
ないにかかわらず、4年間に1度は  
議会を見聞して選挙に向かいたいも  
のです。

## 編集後記

初めての『ひおき市議会だより』  
をお届け致します。  
紙面構成の関係で、詳しく議員  
の発言などを掲載できませんでし  
た。お詫び致します。  
詳細については、関係議員に、  
遠慮なくお訊ね下さい。  
議員の活動や『市議会だより』  
についての、ご感想・ご意見をお  
待ちしています。  
残暑厳しい折り、ご自愛くださ  
い。〜広報編集委員一同〜



- 委員長 池満 涉  
副委員長 出水 賢太郎  
委員 花木 千鶴  
" " " " " 梶 康博  
" " " " " 西園 典子  
" " " " " 門松 慶一  
" " " " " 下御領 昭博  
" " " " " 坂口 洋之